



2026年1月5日

2026年 新年あいさつ（グループ役員向けトップメッセージ）

挑戦と一体感で切り拓く 2026年

NS ユナイテッド海運株式会社 山中一馬代表取締役社長は1月5日にグループ全役員に向けて年頭あいさつを行いました。



新年あけましておめでとうございます。

国内外のNS ユナイテッド海運グループの皆さまとともに、2026年の新しい年を迎えられることを心から嬉しく思います。海上・陸上で日々業務に取り組む全ての皆さまのたゆまぬ努力に、深い敬意と感謝を申し上げます。皆さまの献身が、当社グループの信頼と成長を支える原動力です。本年も、皆さまとともにさらなる飛躍を目指し、新年のごあいさつを申し上げます。

2025年の振り返り

2025年は、世界的に政治・経済の不安定さが際立つ1年となりました。地政学的な緊張、為替の動向、そしてさまざまな要因による物流への影響など、我々を取り巻く環境も

例外ではありません。加えて、貿易摩擦の再燃や国際的な規制の動向など、海運業界にとっては先を見通しづらくなり極めて困難な局面が続いています。

当社グループはこうした環境下においても、鉄鋼原料・製品・エネルギー資源・食料などの安全かつ安定した海上輸送を堅持し、誠実で良質な海上輸送サービスを顧客に提供できるよう創意工夫を重ねてきました。また、環境対応型船舶の導入や最新技術の導入による運航効率化など、将来に向けた基盤づくりも着実に進めることができました。

さらに、昨年は新しいオフィスへの移転を実現しました。この移転は、単なる物理的な環境の刷新にとどまらず、BCP（事業継続計画）の強化、そしてグループ全体のコミュニケーション活性化に向けた重要な一歩となりました。今後この新しいオフィスにおいて、災害や緊急事態への対応力を高めるとともに、部門間の連携を促進し、より柔軟で創造的な働き方を可能にする場として機能させていきたいと思います。

2026 年の見通し

2026 年の世界政治・経済は、依然として不確実性を抱えています。地政学的リスクやエネルギー市場の変動、環境規制の動向など、海運業界を取り巻く環境も複雑化しています。一方で、各国の財政政策や投資拡大が景気を押し上げる見通しであり、鉄鉱石や穀物など基礎資源の需要も現段階では堅調と見込まれています。また、再生可能エネルギーや新燃料輸送など新たな成長機会が広がっていくことも考えられます。当社グループは、こうした変化をチャンスと捉え、柔軟かつ迅速に対応していくことが求められます。

2026 年の重点テーマ「中期経営計画 Forward 2030 II のさらなる推進」

2026 年度は、2024 年度に中期経営計画（以下、中計）「Forward 2030 II」を実行しはじめてから、最終年度となる 2027 年度までの折り返し地点となります。この中計は、2030 年に向けた当社グループの持続的成長の道筋を描くものであり、我々の未来を決定づける大変重要な指針です。

これまでの約 2 年間、この中計の柱となる 2 つの事業戦略である「新規成長事業領域の拡大」と「既存中核事業領域の深化」について、当初計画していたさまざまな案件を着実に実行に移してきました。複数のメタノール二元燃料船、およびアンモニアを積載可能な LPG 二元燃料船の建造契約の締結、NSU TUBARAO へのローターセイルおよび軸発電機の設置、ばら積み船として世界で初めてハイブリッド推進システムを採用した下北丸の運航開始など、事業戦略に則った先駆的な取り組みを推進することができました。今後も最新技術の動向を見極めつつ、それらを当社グループの船隊に実装すべく、積極的な投資を検討・実行していきます。

また、この2つの事業戦略を支える4つの重点取り組みについても着実に強化していきます。「人的資本戦略」では、10年先を見据えた人材育成プログラムを導入し、各種施策を開始しました。本年は、これら人材育成施策の推進を加速し、生産性向上を図りながら、「社員一人ひとりの成長が、企業の成長に直結する」という考え方を、より強固なものにしていきます。

「サステナブル SHIPPING 戦略」では、安全・安定運航が当社の最重要課題であることを改めて認識し、船員の採用・育成強化や安全・作業効率・Well-being 向上に資する新しい技術や設備の導入を継続していきます。環境課題については、これまでCO₂排出削減目標に沿った船隊整備を推進し、国際環境規制への対応も進めてきました。本年は、顧客との連携をさらに深化させて、グリーン輸送ソリューションの提供をさらに強化していきます。環境対応は、競争力の源泉であることをグループ全体で共有し、積極的に取り組んでいきます。

「ガバナンス強化」では、これまで内部統制の強化、リスク管理体制の見直しを進めてきました。本年は、グループ全体でコンプライアンス文化を浸透させ、経営の透明性を高めるとともに、迅速な意思決定体制を確立します。健全なガバナンスの構築は、企業価値を高める基盤であり、社会からの信頼を得るために不断の努力を重ねていきます。

最後に「DX 戦略」では、これまでにDXチームを発足させて、基幹システムの刷新や運航効率化に向けたさまざまな検討を開始することができました。今年はデータドリブン経営を本格化させ、業務プロセスの効率化と精度向上を実現すると同時に、顧客に対してさらに付加価値の高いサービスが提供できるように、デジタル技術を活用して新しい価値創造の源泉としていきます。

中期経営計画「Forward 2030 II」は、当社グループの未来を形づくる羅針盤です。人材、安全・環境、ガバナンス、DXの各分野をさらに抜本的に強化して、これを軸に持続可能な成長を実現することが私たちの使命です。本年はこれまでの成果を着実に積み上げ、次のステージに向けて加速していく年にしていきたいと思います。

結びに

変化の時代において、私たちに求められるのは「挑戦する勇気」と「一体感」です。現場での安全・安定運航、顧客との信頼関係、そして新しい価値の創造は、社員一人ひとりの力を合わせて実現します。どうか本年も積極的な提案と行動、そしてより強固なチームワークをお願いいたします。皆さまの知恵と力を結集し、グループ一体となって未来を切り拓いていきたいと思います。

2026年が、皆さまにとって健康で充実した一年となり、当社がさらなる飛躍を遂げる年となることを心より祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。